気象等に関する警報・注意報発表時および大地震・津波発生時等における対応について

I. 暴風警報・暴風雪警報・大雪警報あるいは 台風接近に伴う大雨警報・洪水警報*1~3 が発表された場合、 または、気象に関する特別警報(大雨・暴風・高潮・波浪・暴風雪・大雪)が発表された場合

「特別警報」が発表された際には、ただちに命を守る行動をとってください。

くお子さまが家にいるとき>

登校前から発表されている場合

※登校は一日保留

<お子さまが家や学校にいないとき>

登下校中に発表された場合

避難

※職員による巡視

<お子さまが学校にいるとき>

- ・学校に着いてから発表された場合
- ・学校が始まってから発表された場合

※原則、授業中止

自宅待機(自宅が安全な場合) または安全な場所に避難

警報の状況 (朝6:00時点) (解除) (未解除)

解除後、2時間以上の 余裕を空けて登校

臨時休校

※ 家に保護する人がいない場合は、 学校で預かり保護者に引き渡します。

くお願い>

通学途中の避難場所については、 ご家庭内でもお話し合いください。 校内の安全な場所で待機

通学路等の安全

(確認)

集団下校または保護者への引き渡し

- *1 台風が低気圧に変わった後に発表された大雨警報・洪水警報は、 「台風接近に伴う大雨警報・洪水警報」に該当しません。
- *2「台風接近に伴う大雨警報・洪水警報」が発表された場合に該当したときは、 「台風の勢力が弱まり、台風でなくなった」または「台風が遠ざかりつつある」状況になっても、 当該警報が解除されるまで休校等の措置を継続します。
- *3 台風接近を伴わない大雨、洪水等の各警報またはその他の各注意報が発表された場合は、 通常どおりの授業を行いますが、児童の安全を最優先に、状況により臨機応変に対応します。

連絡は「まちcomiメール」や学校ホームページを通じて行います。 状況により、災害伝言ダイヤル(171)も使用します。

> ↓※ 災害時にNTTが運用します。 伝言再生: 171-2-059-226-3332

Ⅱ.津市内で震度5強以上の地震が発生した場合、

※当日は休校

東海地震注意情報あるいは予知情報(警戒宣言)が発表された場合、 または、津波警報や大津波警報による避難指示が発令された場合

学校開始(朝8:30)までに

- ・地震が起こった場合
- ・地震や津波への警戒が続いている場合

登下校中に

- ・地震が起こった場合
- ・地震や津波への警戒が始まった場合

学校に着いてから

- ・地震が起こった場合
- ・地震や津波への警戒が始まった場合

※職員による巡視

自宅待機(自宅が安全な場合)

または安全な場所に避難

避 難 (学校) ☞

※授業中止

校内(安全な場所、校舎3階)で待機、または比佐豆知神社へ避難

翌日以降、学校から連絡があるまで登校しない

※ 家に保護する人がいない場合は、学校で預かり、保護者に引き渡します。

<お願い> 通学途中の避難場所に ついては、ご家庭内でも お話し合いください。

学校または比佐豆知神社で 保護者への引き渡し

Ⅲ. 津市内で震度5弱の地震が発生した場合

学校開始(朝8:30)までに

地震が起こった場合

登下校中に 地震が起こった場合

学校に着いてから 地震が起こった場合

※職員による巡視

自宅待機(自宅が安全な場合)

☜(自宅等)

避難

(学校)☞

校内の安全な場所に避難

状況に応じて対応 (通常の下校/集団下校/保護者への引き渡し)

学校から連絡があるまで登校を見合わせ

連絡は、「まちcomiメール」や学校ホームページを通じて行います。

状況により、災害伝言ダイヤルも使用します(伝言再生:171-2-059-226-3332)。